

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

膵全摘後の胃うつ血性合併症に関する日本膵切研究会による 全国実態調査

1 研究の対象

2012年1月1日から2024年12月31日までの間にJA 北海道厚生連札幌病院、外科で膵全摘術を受けられた方

2 研究目的

膵全摘後の胃うつ血性合併症の発生頻度、治療成績、危険因子の検討、及び、高齢者に対する膵全摘の安全性、治療成績を検討するために、当院で膵全摘を受けられた方の診療情報をもとに、データを選択し分析する。

3 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：臨床所見、血液所見、疾患名、術式、合併症の有無、病理学的所見など

4 研究組織

研究代表機関：関西医科大学附属病院 胆膵外科 里井壮平

参加機関：103 機関（個別名はホームページに記載しています URL：
https://ph.kmu.ac.jp/about/resetch/pancretobiliary_surgery/）

5 情報の提供先・提供方法

上記診療情報等を脾全摘術後の胃うつ血性合併症解析のために研究代表施設である関西医科大学附属病院へメールで提供します。

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院（☎：代表 011-261-5331 内線 4060）

研究責任者：外科 田原宗徳

問い合わせ担当者：外科 田原宗徳